

第4回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 次第

日時：令和8年2月26日（木）
午後2時00分～午後4時00分
場所：生涯学習センター 5階 研修室1

1 有識者委員（文化芸術分野）の後任の選任予定について

2 これまでの議論の整理について

- (1) 推進委員会評価に対する区の考え方 《参考1》
- (2) これまでの意見と今後の方針 《参考2》

3 アンケート調査結果の中間報告について 【資料1】

4 新3分野計画策定における基本方針について 【資料2】

5 新3分野計画策定に向けた意見交換について 《参考3, 4》

- (1) グループ単位での意見交換
- (2) まとめ・共有

6 今後の予定

- (1) 推進委員会のスケジュール
- (2) 第5回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会
日程：令和8年4月～5月
議題：新3分野計画（素案）の検討 など

【配布資料】

資料1 アンケート調査結果（概要版）

資料2 新3分野計画 体系整理図（文化・読書・スポーツ）

参考1 評価報告書（概要版）・施策評価シート（文化・読書・スポーツ）

参考2 これまでの意見と今後の方針（案）

参考3 新3分野計画 事業一覧（文化・読書・スポーツ）

参考4 アンケート調査票・単純集計表

■調査の概要

【調査の目的】

区民の文化芸術・読書・スポーツ活動における現状や課題、区の取組等に関する意見を把握し、新しい3分野計画の策定に向けた基礎資料とするため。

【調査時期】

令和7年12月1日（月）～12月26日（金）

【調査対象等】

	対象	調査方法	配布数	回収率
1	16歳以上 一般区民	郵送配布、郵送・WEB回収	3,000件	34.8% (1,044件)
2	16歳以上 障がい者団体	郵送配布、郵送・WEB回収	175件	49.1% (86件)
3	16歳以上 障がい者個人	郵送配布、WEB回収	100件	0% (0件)
4	小学校5年生の児童	学校にて依頼文を配布・WEB回収	1,410件	31.5% (444件)
	中学校1年生の生徒			
5	上記児童・生徒の保護者		1,410件	32.1% (453件)

【主な調査項目】

- 基本属性、関心のある分野、好きなこと
- 文化芸術：興味・関心のあるジャンル、鑑賞の有無・しない理由、活動への参加有無、伝統芸能等の体験 など
- 読書：読書の状況（方法、しなかった・できなかった理由）、図書館の利用に関して、など
- スポーツ：運動・スポーツの実施状況（頻度、場所、しなかった理由等）、観戦の状況、支える活動 など

■各分野への関心度と満足度

【ウェルビーイングとの関連性】

各分野への関心（問7）と足立区での生活の満足度合い（問44）についてみると、文化芸術、読書、スポーツ、その他のいずれかに関心がある層は、「満足している」割合が65%以上となっています。一方で、特に関心のある分野がない層は、「満足している」割合が55%となっています。

	分野への関心	足立区での生活に満足している							満足している
		合計	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	無回答	
	全体	1028	251 24.4	441 42.9	237 23.1	43 4.2	33 3.2	23 2.2	67.3
	文化芸術	674	151 22.4	312 46.3	162 24.0	26 3.9	13 1.9	10 1.5	68.7
	読書	549	133 24.2	251 45.7	125 22.8	16 2.9	14 2.6	10 1.8	69.9
	運動・スポーツ	702	176 25.1	313 44.6	159 22.6	27 3.8	13 1.9	14 2.0	69.7
	文化芸術、読書、運動・スポーツ以外	141	35 24.8	59 41.8	37 26.2	5 3.5	5 3.5	-	66.6
	特に関心のある分野はない	89	19 21.3	30 33.7	20 22.5	8 9.0	9 10.1	3 3.4	55.0

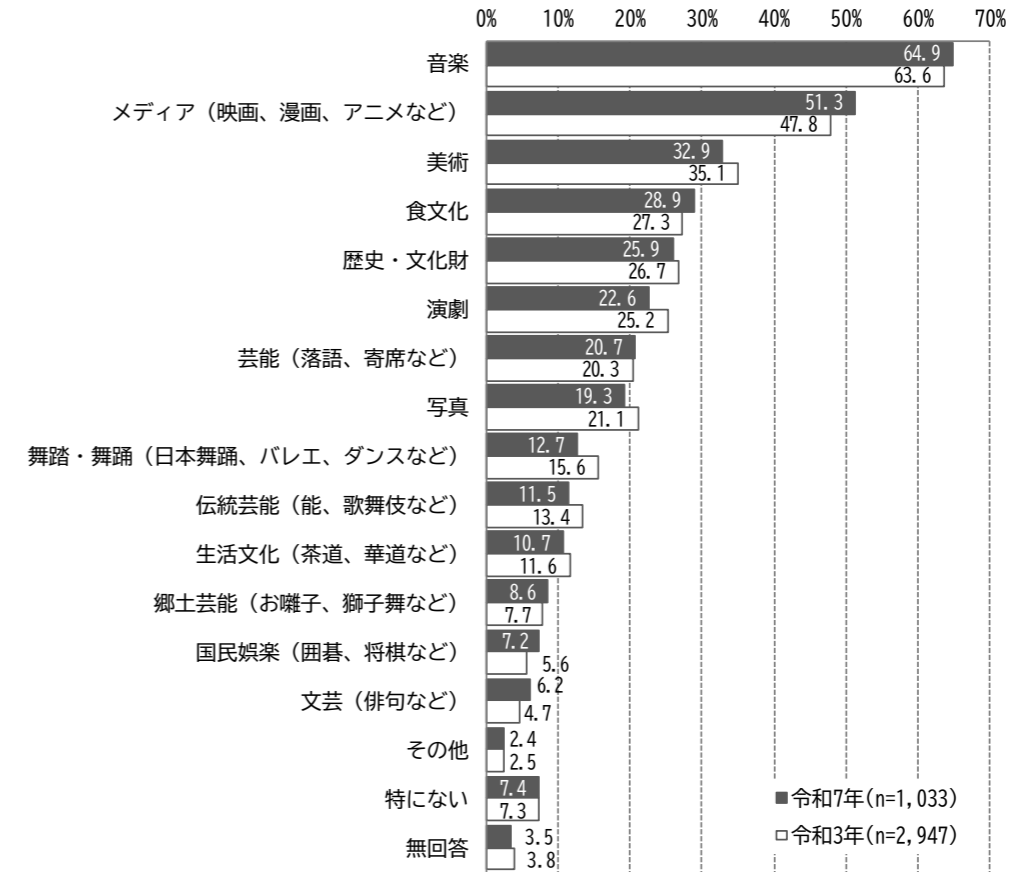
※「満足している」の割合は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計

■文化芸術

【関心のあるジャンル】

興味や関心のある文化芸術のジャンルについて、「音楽」が64.9%と最も高く、次いで「メディア（映画、漫画、アニメなど）」が51.3%、「美術」が32.9%となっています。

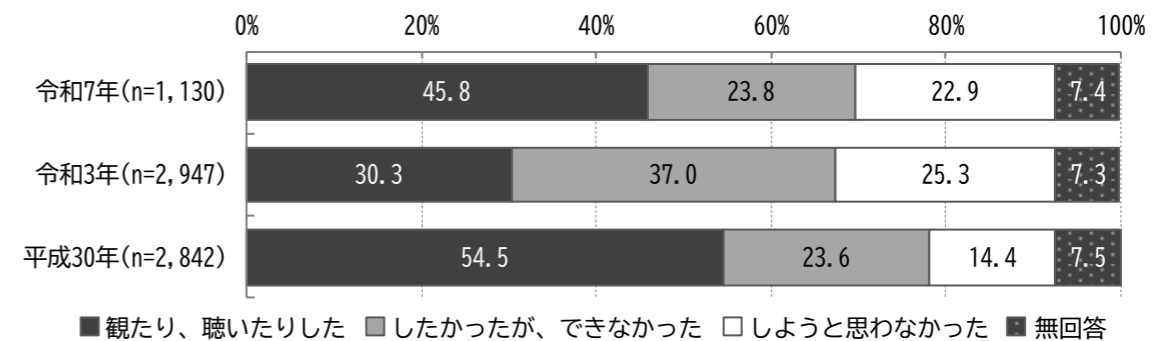
令和3年の調査と比べると、上位に挙がっているジャンルについて変化はありません。



【鑑賞の有無】

過去1年における文化芸術の鑑賞について、「観たり、聴いたりした」が45.8%と最も高くなっています。

令和3年の調査と比べて、「観たり、聴いたりした」が15.5ポイント増加していますが、平成30年の調査時の水準には至っていません。



（参考）鑑賞の有無

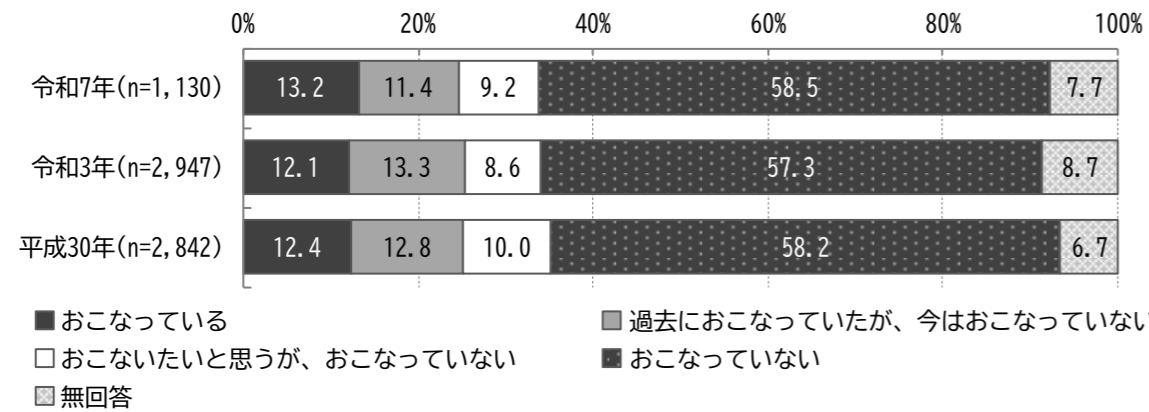
- 子ども
「スマートフォン・パソコン・タブレット端末などを使ったオンラインやWEB、テレビで観たり聴いたりした」：74.8%
「文化ホール、美術館、博物館、映画館などに行った」：73.0%
- 保護者
「観たり、聴いたりした」：54.3%

文化・読書・スポーツに関するアンケート調査の結果（概要）

【活動への参加の有無】

文化芸術に関わる活動について、「おこなっていない」が58.5%と最も高くなっています。一方で、「おこなっている」は13.2%となっています。

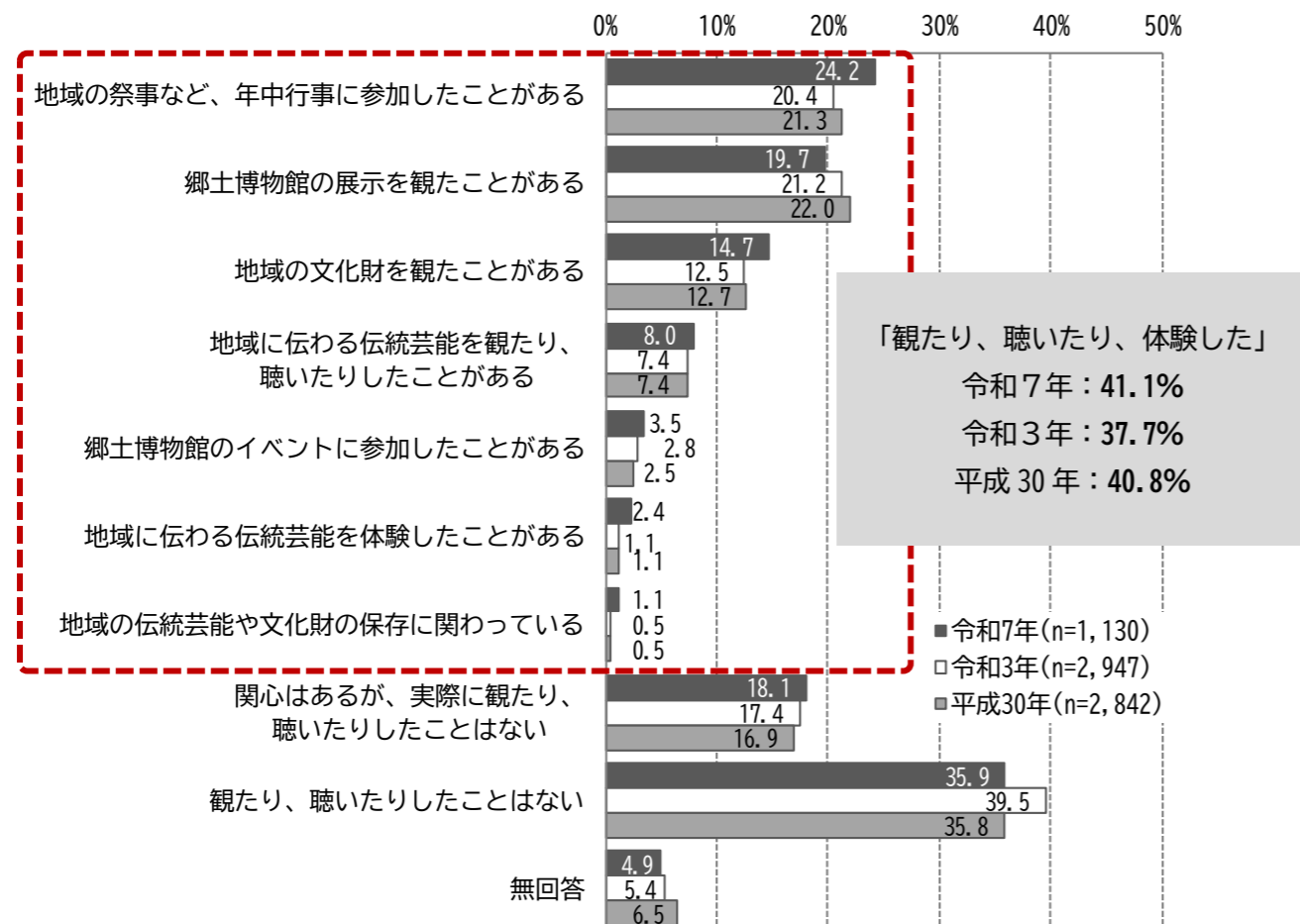
令和3年調査、平成30年調査と比べて、大きな変化は見られません。



【伝統芸能等の体験】

伝統芸能や文化財などを観たり、聴いたり、体験したりしたことについて、「観たり、聴いたりしたことはない」が36.8%と最も高くなっています。したことがある内容については、「地域の祭りなど、年中行事に参加したことがある」が23.7%と最も高くなっています。

「観たり、聴いたり、体験した」割合*は、令和7年の調査では41.1%、令和3年の調査では37.7%となっており、前回の調査よりも3.4ポイント増加し、平成30年の調査と同水準となっています。



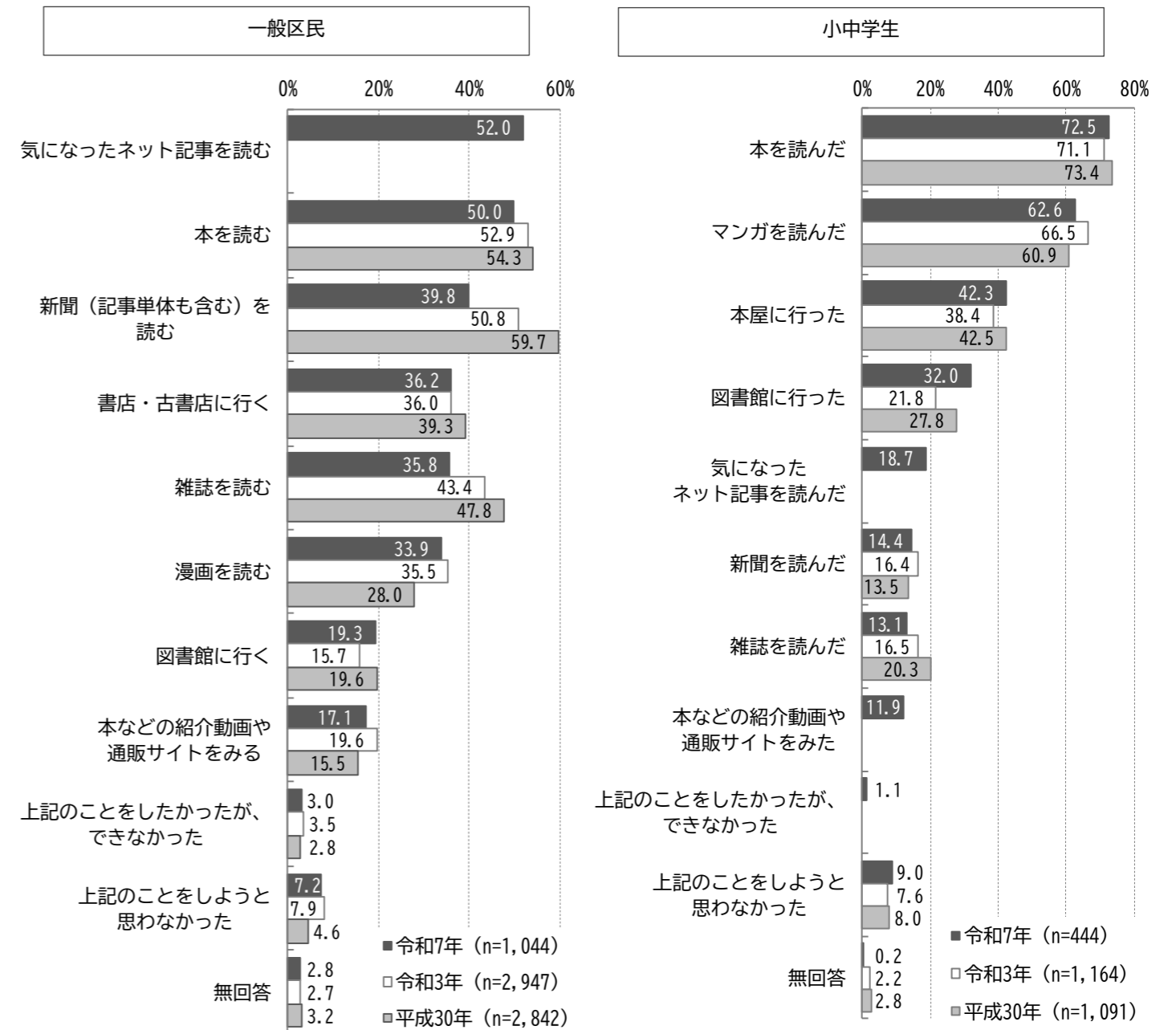
*「観たり、聴いたり、体験した」は100%から「関心はあるが、実際に観たり、聴いたりしたことはない」「観たり、聴いたりしたことはない」「無回答」を除いた割合

■読書

【最近1か月の読書に関する行動（一般区民・小中学生）】

最近1か月の読書に関する行動について、一般区民では「気になったネット記事を読む」が52.0%と最も高くなっています。「本を読む」については、令和3年の調査と比べて横ばいの状態です。

小中学生では、「本を読んだ」が72.5%と最も高くなっています。令和3年の調査と比べると、7割程度と横ばいの状態です。



※一般区民、小中学生ともに、令和7年、令和3年、平成30年で選択肢が少し異なります

文化・読書・スポーツに関するアンケート調査の結果（概要）

【図書館の利用目的】

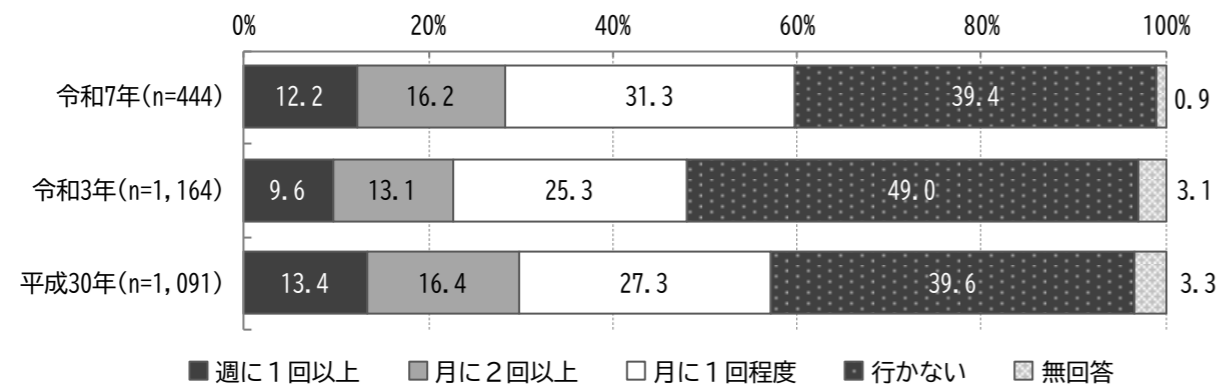
図書館を利用する目的について年代別にみると、20歳代、50歳以上では、「図書館を利用してない」が、最も高くなっており、50歳以上については、4割以上となっています。

	図書館を利用する目的											図書館を利用していない	無回答
	合計	本を読むため	調べ物をするため	勉強をするため	イベントに参加するため	静かに過ごすため	会話をするため	子どもと一緒に過ごすため	友人や家族と一緒に過ごすため	インターネットを使うため	その他		
20歳未満	21	8	6	10	-	3	-	-	2	-	-	4	1
	100.0	38.1	28.6	47.6	-	14.3	-	-	9.5	-	-	19.0	4.8
20歳代	73	26	21	23	1	9	-	3	-	1	4	27	2
	100.0	35.6	28.8	31.5	1.4	12.3	-	4.1	-	1.4	5.5	37.0	2.7
30歳代	114	48	36	23	5	9	-	26	1	1	3	33	-
	100.0	42.1	31.6	20.2	4.4	7.9	-	22.8	0.9	0.9	2.6	28.9	-
40歳代	154	72	37	25	3	8	1	27	2	1	7	52	5
	100.0	46.8	24.0	16.2	1.9	5.2	0.6	17.5	1.3	0.6	4.5	33.8	3.2
50歳代	212	83	53	21	4	18	-	6	1	2	7	95	5
	100.0	39.2	25.0	9.9	1.9	8.5	-	2.8	0.5	0.9	3.3	44.8	2.4
60歳代	182	74	55	18	1	16	2	1	-	-	12	75	6
	100.0	40.7	30.2	9.9	0.5	8.8	1.1	0.5	-	-	6.6	41.2	3.3
70歳代	176	52	44	4	1	8	1	1	2	1	8	73	25
	100.0	29.5	25.0	2.3	0.6	4.5	0.6	0.6	1.1	0.6	4.5	41.5	14.2
80歳以上	104	24	16	3	2	5	1	1	-	-	1	42	24
	100.0	23.1	15.4	2.9	1.9	4.8	1.0	1.0	-	-	1.0	40.4	23.1

※各年代で、最も高くなっている項目に濃い網掛け、次に高くなっている項目に薄い網掛けをしています

【学校図書館の利用頻度（小中学生）】

授業以外で学校の図書館を利用する頻度について、「行かない」が39.4%と最も高く、次いで「月に1回程度」が31.3%となっています。令和3年調査と比べて、「行かない」は9.6ポイント減少しており、平成30年と同水準となっています。



■スポーツ

【スポーツ実施状況・していない理由】

スポーツの実施	件数	割合
実施した	599人	53.0%
実施したかったが、できなかった	224人	19.8%
実施しようと思わなかった	262人	23.2%
無回答	45人	4.0%

実施した人のうち、週に1日以上実施している割合は75.0%

実施していない人も含めた全体（n=1,130）でみると、「週に1日以上スポーツを実施している」割合は39.7%（週に1日以上実施している：449人）

スポーツをしていない・できていない理由について、実施したかったが、できなかった層は「仕事・学業・家事・育児・介護などで時間が取れなかった」が54.6%と最も高くなっています。実施しようと思わなかった層については、「特に理由はない」が27.3%と最も高くなっています。

	過去1年間に、運動・スポーツを実施しなかった理由										無回答
	合計	仕事・学業・家事・育児・介護などで時間が取れなかった	費用に余裕がなかった	場所や施設がなかった、または利用しにくかった	病気やけが、または体調不良のため	一緒に活動する仲間がいなかった	運動・スポーツの楽しみ方や、何から始めていいかわからなかった	運動・スポーツ自体にあまり興味なかった、または面倒だと感じた	特に理由はない	その他	
実施したかったが、できなかった	207	113	28	25	42	27	19	14	2	14	
	100.0	54.6	13.5	12.1	20.3	13.0	9.2	6.8	1.0	6.8	
実施しようと思わなかった	245	57	11	6	32	13	18	58	67	33	
	100.0	23.3	4.5	2.4	13.1	5.3	7.3	23.7	27.3	13.5	

【スポーツ実施状況（令和3年、平成30年調査）】

スポーツの実施	R3	H31
実施した	48.8%	52.7%
実施したかったが、できなかった	21.0%	20.5%
実施しようと思わなかった	27.2%	21.6%
無回答	3.0%	5.1%

実施した人のうち、週に1日以上実施している割合は令和3年調査で72.0%、平成31年調査で68.0%

（R3）実施していない人も含めた全体（n=2,947）でみると、「週に1日以上スポーツを実施している」割合は35.2%（週に1日以上実施している：1,036人）

（H31）実施していない人も含めた全体（n=2,842）でみると、「週に1日以上スポーツを実施している」割合は35.9%（週に1日以上実施している：1,019人）

「週に1日以上スポーツを実施している」割合は、令和3年調査と比べて4.5ポイント増加しており、平成30年調査と比べても上回っています。

【スポーツの実施場所】

スポーツの実施場所について年代別にみると、20歳以上は「自宅周辺」が最も高くなっています。

	どのような場所や施設で運動・スポーツを実施したか							無回答
	合計	自宅	自宅周辺	職場及び職場周辺(区内)	職場及び職場周辺(区外)	その他の場所(区内)	その他の場所(区外)	
20歳未満	16	2	2	2	3	6	9	-
	100.0	12.5	12.5	12.5	18.8	37.5	56.3	-
20歳代	42	5	24	2	4	7	18	-
	100.0	11.9	57.1	4.8	9.5	16.7	42.9	-
30歳代	66	25	52	7	8	10	9	-
	100.0	37.9	78.8	10.6	12.1	15.2	13.6	-
40歳代	87	19	50	9	6	25	15	-
	100.0	21.8	57.5	10.3	6.9	28.7	17.2	-
50歳代	115	33	73	6	12	14	28	-
	100.0	28.7	63.5	5.2	10.4	12.2	24.3	-
60歳代	96	25	61	5	8	20	26	-
	100.0	26.0	63.5	5.2	8.3	20.8	27.1	-
70歳代	93	25	58	-	-	33	18	2
	100.0	26.9	62.4	-	-	35.5	19.4	2.2
80歳以上	33	12	17	-	-	14	2	-
	100.0	36.4	51.5	-	-	42.4	6.1	-

《メインテーマ》

《共通理念》

やりたいことが叶うまち

楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる

+ α (基本計画のテーマや理念など)

《7つの理念》

《目指す将来の姿》

《各分野の課題》

《施策の柱》

① 協創の再構築

② やりたいことが叶う

③ ウェルビーイングの向上とSDGsの推進

④ 人権・多様性の尊重と地域共生社会の実現

⑤ 子ども・若者と進めるまちづくり

⑥ 地域特性・地域資源を踏まえた施策の推進

⑦ 持続可能な区政運営の推進

年齢や性別・生涯の有無等に関わらず、区民の誰もが文化芸術を気軽に楽しむことでウェルビーイングを高められる環境が整っている

区民が文化芸術を通して「やりたいこと」が叶う環境の中で、創造力や自己肯定感、表現する意欲を養っている

地域の伝統や文化財に親しみ、多様な人々との交流を通じて楽しさを広げることで、足立区への愛着や誇り（シビックプライド）を醸成し、未来へと継承している

文化芸術に関心は高いが実際に鑑賞した人は少なく、関心と行動に差が生じている

文化芸術関連事業へ参加や活動を行った区民は少なく、さらなる支援が必要である

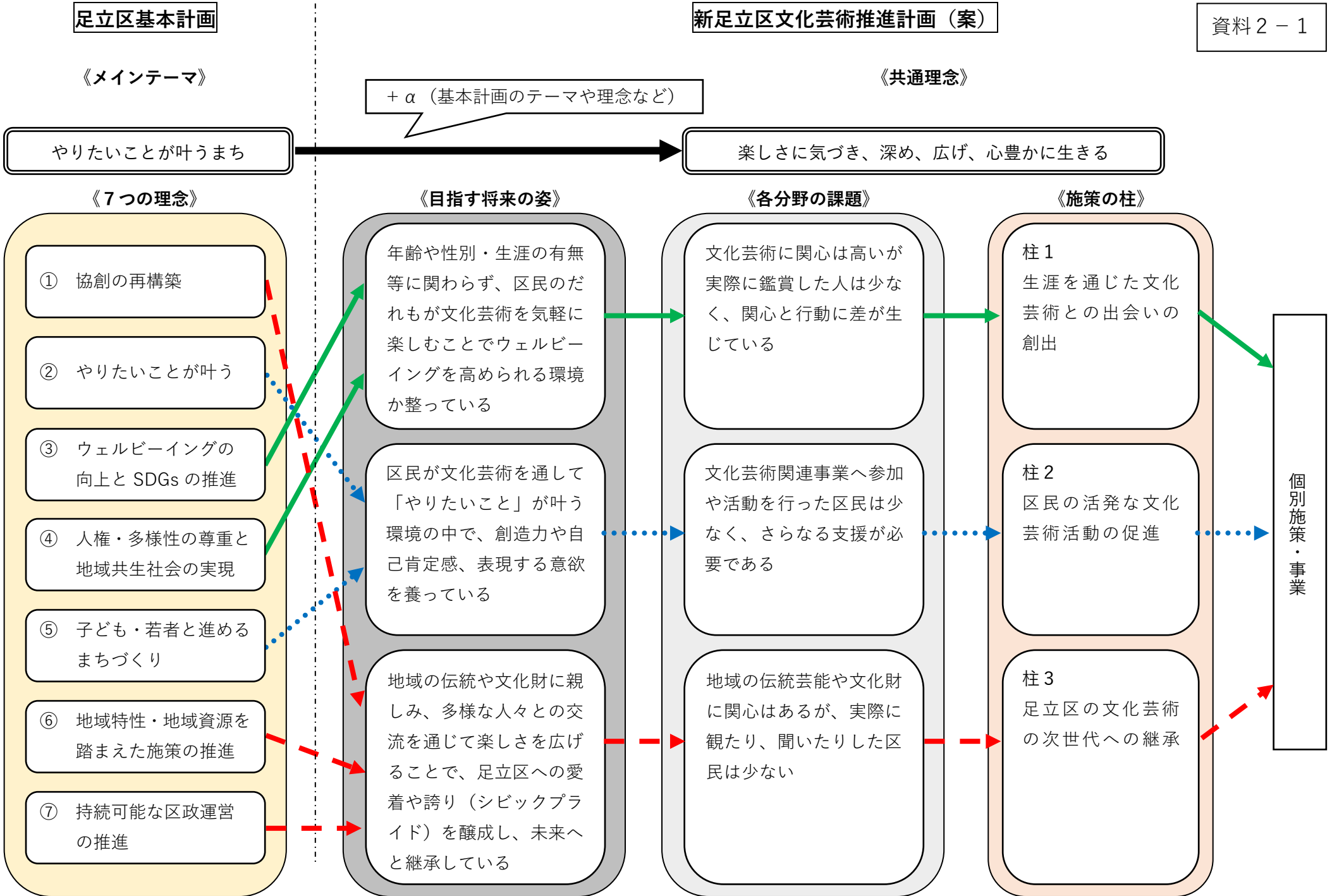
地域の伝統芸能や文化財に関心はあるが、実際に観たり、聞いたりした区民は少ない

柱1
生涯を通じた文化芸術との出会いの創出

柱2
区民の活発な文化芸術活動の促進

柱3
足立区の文化芸術の次世代への継承

個別施策・事業



《メインテーマ》

《共通理念》

やりたいことが叶うまち

楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる

+ α (基本計画のテーマや理念など)

《7つの理念》

《目指す将来の姿》

《各分野の課題》

《施策の柱》

① 協創の再構築

② やりたいことが叶う

③ ウェルビーイングの向上とSDGsの推進

④ 人権・多様性の尊重と地域共生社会の実現

⑤ 子ども・若者と進めるまちづくり

⑥ 地域特性・地域資源を踏まえた施策の推進

⑦ 持続可能な区政運営の推進

年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、区民の誰もが身近なところで、読書を気軽に楽しめる環境が整っている

子どもの頃から区民が読書に親しみ、読書を通して言葉を学び、知識を深めるとともに、情報を活用する力と、自分自身の考えをより具体的に形成していく力が高まっている

読書を通じて、区民が自らの考えを持ち、多様な価値観に触れることで、他人の考えを尊重できる豊かな心を育み、教えあい、学びあい、人と人がつながっていく共生社会が実現している

約半数の区民が読書をしておらず、成長するにつれて本を読む子どもが減少する、70歳以上では加齢とともに本を読まなくなる人が増えるなど、読書機会の充実に向けた更なる支援が必要である

読書や図書資料、図書館への関心を高める取り組みが不足しており、図書館を利用する区民が少ない

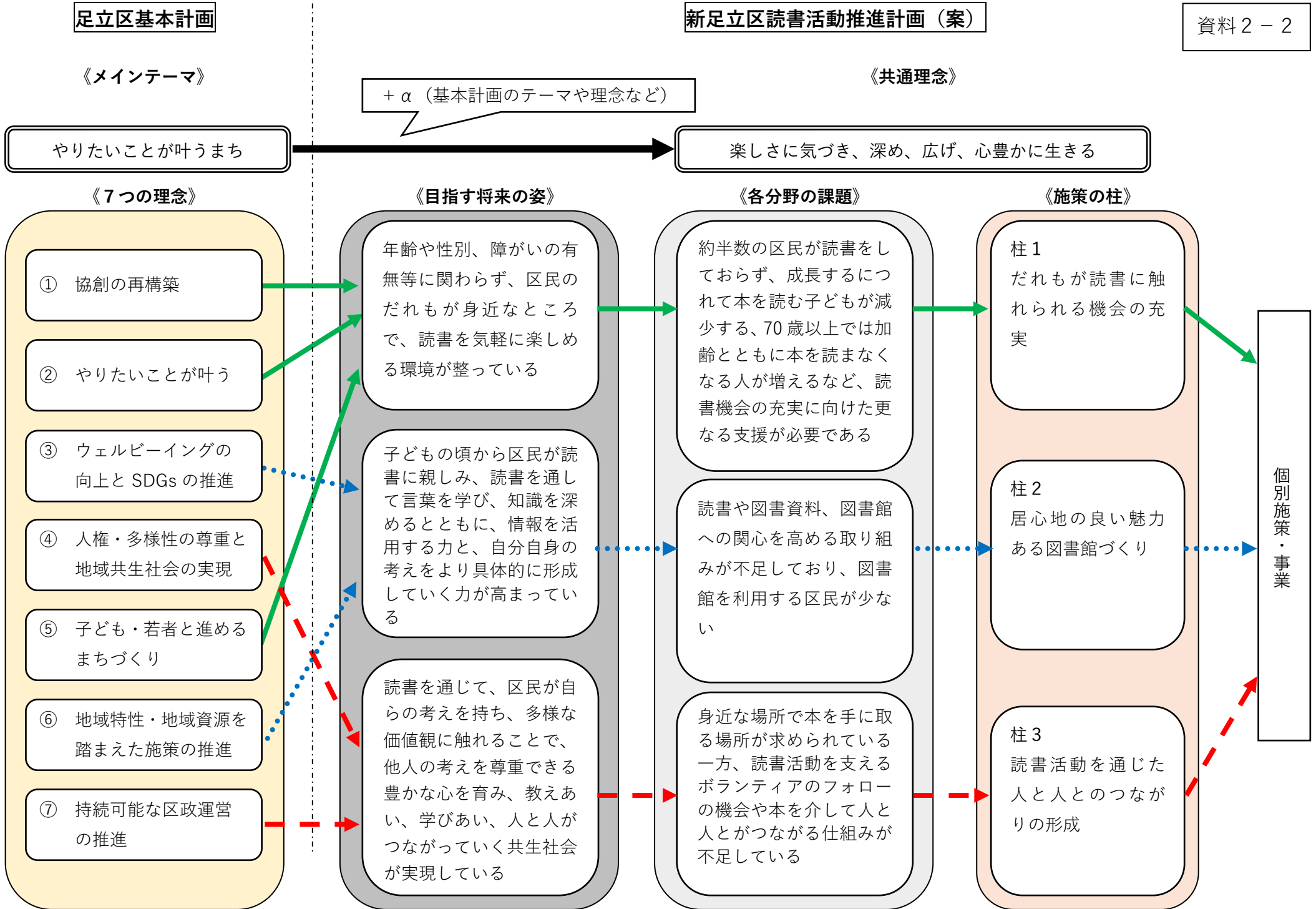
身近な場所で本を手にする場所が求められている一方、読書活動を支えるボランティアのフォローの機会や本を介して人と人がつながる仕組みが不足している

柱1
だれもが読書に触れられる機会の充実

柱2
居心地の良い魅力ある図書館づくり

柱3
読書活動を通じた人と人とのつながりの形成

個別施策・事業



《メインテーマ》

《共通理念》

やりたいことが叶うまち

楽しさに気づき、深め、広げ、心豊かに生きる

+ α (基本計画のテーマや理念など)

《7つの理念》

《目指す将来の姿》

《各分野の課題》

《施策の柱》

① 協創の再構築

② やりたいことが叶う

③ ウェルビーイングの向上とSDGsの推進

④ 人権・多様性の尊重と地域共生社会の実現

⑤ 子ども・若者と進めるまちづくり

⑥ 地域特性・地域資源を踏まえた施策の推進

⑦ 持続可能な区政運営の推進

年齢や性別・障がいの有無等に関わらず、区民の誰もが運動・スポーツを身近なところで気軽に楽しめる環境が整っている

運動・スポーツを通して、区民が自ら心身の健康の保持・増進を図り、心豊かに日々を過ごしている

運動・スポーツに親しむことで、区民が自己肯定感や他者への理解を深め、人と人がつながり、地域のコミュニティが醸成されている

スポーツに関心はあるが実際の行動に結びついておらず、「関心層」への動機付けが必要である

過去の経験者が、ライフステージの変化を超えて「みる・する・ささえる」へ戻る機会が不足している

障がいの有無や世代、国籍を問わず、誰もが自然に混ざり合い、地域で支え合える環境が整備されていない

「みる・する」を運動させ、運動・スポーツの楽しさに「気づく」機会と再開のきっかけ提供

過去の経験を活かした「する」「ささえる」の循環を作り、再挑戦を支える環境を整備

世代や障がいの垣根を超えた「混ざり合い」を促し、活動を広げ「ささえる」人材の育成

個別施策・事業

